



NetSupport Manager

目次

本マニュアルで使用している専門用語.....	4
インストール.....	4
システム条件.....	4
インストールを計画する.....	6
インストールを開始する.....	7
NetSupport ライセンス使用許諾書.....	8
ライセンス情報.....	8
セットアップタイプの選択.....	8
カスタムセットアップ.....	9
プログラムのインストール.....	11
インストールの完了.....	11
既にインストールされています.....	12
NetSupport Managerをアンインストールする.....	13
評価用体験版.....	13
拡張インストール.....	14
配布用コピーを作成する（ネットワークインストール）.....	14
サイレント/無人インストール.....	15
設定オプションダイアログをインストールする.....	16
NetSupport Manager デプロイ - NetSupport Manager's	
リモートインストールツール.....	19
Windows XP に配布する.....	20
NetSupport Managerデプロイの仕組み.....	21
必須条件.....	21
デプロイの手順.....	22
ドメイン環境.....	22
ワークグループ環境.....	23
一般的なエラー.....	26
NetSupport Manager コントロールを起動する.....	29
MacベースのシステムにNetSupport	
Managerをインストールする.....	30



Linux プラットフォームに NetSupport Manager クライアントをインストールする	31
Google Chrome OSデバイスに NetSupport Managerのインストールと設定	32
NetSupport Manager Androidクライアントのインストールと設定	35
iOSおよびAndroid用NetSupport Manager コントロール	37
読者のコメント	38

本マニュアルで使用している専門用語

「コントロール」はクライアントに表示したり、クライアントを表示したり、操作を引き継ぐワークステーションまたはデバイスです。ビューアとも呼ばれています。

「クライアント」は表示される、または引き継がれるワークステーションまたはデバイスです。ホストとも呼ばれています。

インストール

システム条件

いくつかのNetSupport Managerの機能は特定のファイル/アプリケーションに依存しています。

PC 動作環境:

Windows 10、8、8.1 (32bit および 64Bit)、Windows Server 2012、Windows 7 (32bit および 64Bit)、Windows 2008 (32bit、64 bit および R2)、Vista (32bit および 64bit)、2003 (Service Pack 1)、XP (Service Pack 3およびそれ以降)。

TCP/IP、HTTPまたはレガシー(IPXおよびNetBIOS)。

NetSupport Managerは、WYSE Technologies、Microsoft、HP、Ncomputing (X-series and L-series)、MiniFrame (SoftXpand) その他のMultiPoint、MultiSeatおよびバーチャル環境との互換性だけでなく、シンおよびゼロクライアント環境とのフル統合を提供しています。

注意: Windows 7 の「タスクバーに固定表示する」機能を使用するには、予約されている語句の一覧から特定の語句を削除する必要があります。詳細については、www.netsupportsoftware.com/support でナレッジベース記事 582を参照してください。

Linux 動作環境:

NetSupportは現時点では次のLinux製品に対応しています: OpenSUSE 11.2およびそれ以降、SUSE Enterprise 11、SUSE Enterprise Server 11、Ubuntu/Edubuntu 9.04およびそれ以降、Debianへ6、そして、Red Hat Enterprise Linux 6、Linux Mint 9およびそれ以降、そしてFedora 12およびそれ以降。



デスクトップマネージャー: Gnome、KDE、Unity 2D、Ubuntu Classic (No Effects Only)、MATEそして Cinnamon.

Mac 動作環境:

NetSupport Manager クライアントはMAC OSXと互換性があります。また Mac用のユニバーサル証明を同梱しています。

NetSupport Manager Macコントロールおよびクライアントは、Intelプラットフォームの Mac OS Xバージョン10.5以降、Mavericks、Leopard、Snow Leopard、Lion、Mountain LionそしてYosemiteをサポートします。

Mobile Control

iOSおよびAndroid用NetSupport Managerコントロールは、既存の NetSupport ManagerリモートユーザーのためにiPad、iPhone、iPod、Android タブレットおよびスマートフォンまたはKindle Fireからリモートでモバイルリモートコントロールを提供します。

NetSupport Manager Mobile Appは、[Google Play](#)、アップルの[iTunes Store](#)、[Amazon](#)アプリストアからダウンロードすることができます。

Androidクライアント

Android用NetSupport Managerクライアントは、各Androidデバイス(4以降)にインストールし、Windowsコントロール(12.5以降)から接続することができます。

Chrome OSクライアント:

既存または新規にNetSupport Managerで管理されている環境で使用する場合、Chromeクライアント拡張用NetSupport Managerは、Google Chrome OSが実行している各Chromebookにインストールすることができます。コントロールから、各システムに接続できるようになり、画面を監視したり、素早く効果的に各Chromebookと対話できるようになります。

レガシープラットフォーム対応

以下のプラットフォームのレガシー対応が提供されます:

Windows NT4、Windows 2000、Windows XP (Service Pack 3以前)および Windows 2003 (Service Pack 1以前)。

注意: これらのプラットフォームには古いバージョンのNetSupport Managerが必要になります。これらは、www.netsupportmanager.com/downloads.asp からダウンロード可能です。

Pocket PC:

OS: Pocket PC 2003またはWindows Mobile 2003もしくはそれ以上
プロセッサ: Strong ARM プロセッサ
ActiveSync/WiFi ワイヤレスLAN互換
デバイスRAM: 32Mb (64Mb 推奨)
ハードディスク: 最小2Mb、フルインストールには10Mb必要

Windows CE

OS: Windows CE 4.2またはそれ以上
プロセッサ: Strong ARMプロセッサ、X86互換
ActiveSync 互換
デバイスRAM: 32Mb (64Mb 推奨)
ハードディスク: 5Mb 以上の空き容量

[インストールを計画する](#)

NetSupport Manager のインストールは非常に簡単です。いくつかのシンプル なルールに従うだけで、短時間でインストールしてお使いいただけます。

どの機能をインストールするか決める

他のPCやデバイスを遠隔操作するワークステーションにはコントロールをインストールする必要があります。

引き継がれるまたは操作されるすべてのマシンまたはデバイスには、クライアントをインストールする必要があります。

スクリプトやデプロイを使用する、ゲートウェイとしてマシンを使用するなどの高度なNetSupport Managerの機能でインストールをカスタマイズする必要があるか決めます。

またNetSupport ManagerにはNetSupport Schoolトレーニングツールが提供されています。個別、事前に定義されたグループまたはクラス全体として研修生と対話するだけでなく、指導や視覚的/聴覚的に監視する機能が指導者に用意されています。



どのネットワークプロトコルを使用するか決める

インストールするコンピュータで使用するネットワークプロトコルを決定します。NetSupport Managerは TCP/IP、IPX、NetBIOS、HTTP に対応しています。

NetSupport Manager はマルチプロトコルに対応しているため、同一のコントロール から異なるプロトコルのクライアントに接続できます。デフォルト設定を選択して、後で変更します。

注意: デフォルトでは、コントロールはTCP/IPを使用するように設定されています。それ以外のプロトコルを使用する場合は、コントロールを初めて起動した直後に設定してください。

以上で NetSupport Manager コントロールとクライアントのインストール準備が完了しました。

このガイドは、Windowsプラットフォームでのインストール手順を説明します。別のサポートされているプラットフォームにNetSupport Manager をインストールする場合、CDからすべてのプラットフォームのインストールオプションを選択するか、当社のウェブサイト www.netsupportmanager.com/downloads.asp、のダウンロードエリアを参照してください。

インストールを開始する

また、www.netsupportmanager.com/downloads.asp からNetSupport Managerをダウンロードすることができます。

メニューより該当する言語をクリックし、NetSupport Manager をインストールするためのオプションを選択します。

使用するインストーラをsetup.exe または MSI ファイルのどちらか選択します。Active Directoryにデプロイを実行する必要がある場合は、MSI ファイルを使ってインストールしてください。

NetSupport Manager インストーラーはようこそ画面を表示し始めます。続けるには[次へ] をクリックします。

注意:

- お使いのWindowsオペレーティングシステムをアップグレードする場合は、アップグレード前にNetSupport Managerを必ずアンインストールしてくださいオペレーティングシステムのアップグレードが完了後にNetSupport Managerを最インストールすることができます。
- インストールの際は、必ず管理者アカウントでログインしてください。

NetSupport ライセンス使用許諾書

NetSupport ライセンス使用許諾書が表示されます。ライセンス使用許諾書をよくお読みください。続行するには [次へ] をクリックします。

使用許諾契約書に同意しない場合は、[ライセンス使用許諾書に同意しない] を選択し、[キャンセル] をクリックしてください。NetSupport Manager はインストールされず、画面の指示に従いインストールプログラムを終了してください。

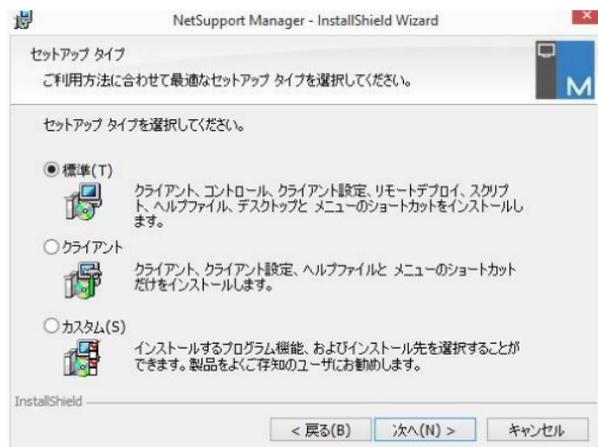
ライセンス情報

登録を選択し、提供されたNetSupport Managerのライセンス詳細を入力します。

NetSupport Manager の体験版の場合は、30日体験版を選択し、[次へ] をクリックします。

セットアップタイプの選択

ワークステーションにインストールするセットアップの種類を選択します。

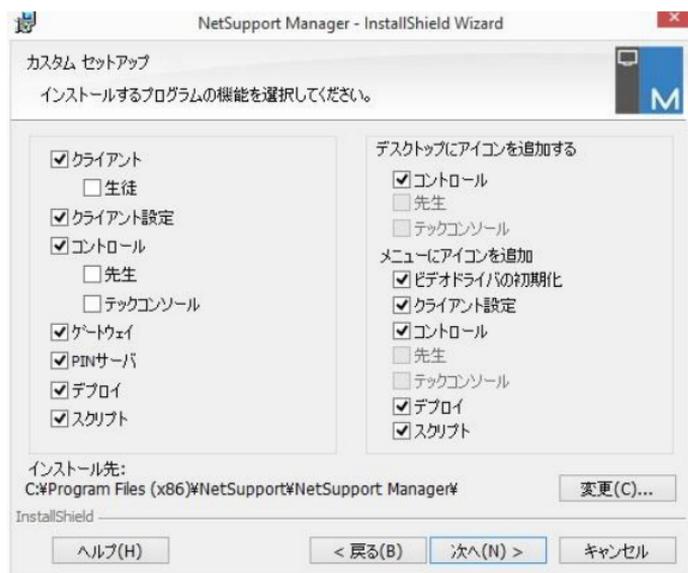


- **標準**
コントロールユーザが、一般的に必要なコンポーネントをすべてインストールします。ゲートウェイは除外されます。NetSupport Manager の各コンポーネントの説明は下記を参照してください。
- **クライアント**
クライアントソフトウェアをインストールします。この機能は遠隔操作されるワークステーションにインストールする必要があります。
- **カスタム**
コンピュータに合ったコンポーネントの組み合わせを個々に選択できます。

続行するには、[次へ] をクリックします。

カスタムセットアップ

カスタムセットアップを選択すると、各コンピュータに合ったコンポーネントを選択できるようになります。



クライアント

リモートコントロールしたいコンピュータにこのコンポーネントをインストールします。

スクール 生徒

トレーニング向けツールの NetSupport School の生徒用コンポーネントをインストールします。

クライアント設定

クライアント設定を使ってクライアントの設定とセキュリティを確立します。インストール処理の最後に基本設定に移行できます。高度な設定をしたい場合は、クライアント設定コンポーネントをインストールしてください。

コントロール

クライアントのコンピュータを操作するコンピュータにこのコンポーネントをインストールします。ショーなどの機能をフル使用するには、クライアントコンポーネントも一緒にインストールすることを推奨します。

スクール 先生

トレーニング向けツールの NetSupport School の先生用コンポーネントをインストールします。

テックコンソール

テックコンソールをインストールします。コンピュータ教室の担当技術者やネットワーク管理者が主なNetSupport School の機能を使用できるようにします。

ゲートウェイ

NetSupport Managerゲートウェイはインターネットを介してクライアントとコントロールを接続する方法を提供しています。既存のファイアウォール構成を修正せずにウェブベースのリモートコントロールを行なえます。クライアントとコントロール間にはダイレクト接続はありません、全データはゲートウェイを経由して通過します。そのためゲートウェイコンポーネントはコントロールとクライアントとは独立してインストールすることができます。ゲートウェイコンポーネントを選択した場合、ゲートウェイ設定ダイアログがインストール終了後に表示されます。

PINサーバ

NetSupport ManagerのPINサーバをインストールします。PINサーバはPIN接続機能を使用時に固有のPINコードを生成するセントラルポイントを提供します。

デプロイユーティリティ (XPまたはそれ以上の)

デプロイにより複数のNetSupport Managerのインストール作業をそれぞれのコンピュータに訪れずに行なうことが可能です。

スクリプト

NetSupport Managerスクリプトとスケジューラのスイートをインストールします。手動作業を自動化するためのスクリプトを作成し、特定の時間に実行するように予定します。夜間の更新などに向いています。

デスクトップアイコンをインストールする

デスクトップアイコンを作成するかどうかを選択します。例えば、NetSupport コントロール、NetSupport School先生、NetSupport Schoolテックコンソール用のプログラムへの簡単なアクセスを可能にします。

スタートメニューアイコンをインストールする

インストールするコンポーネントのスタートメニューアイコンを作成するかどうかを選択します。

インストール先:

デフォルトでは、NetSupport Managerは C:\Program Files\NetSupport Manager\NetSupport Manager フォルダにインストールされます。別のフォルダにインストールしたい場合は、[変更] をクリックします。

続行するには、[次へ] をクリックします。

プログラムのインストール

インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。その前の選択を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを中止するには、[キャンセル] をクリックします。

注意: クライアントのインストールを選択した場合、Windows が初期化時にクライアントを起動するよう System.INI とレジストリに必要な変更をします。NetSupport Manager は、既存のドライバを置き換えることはありません。

インストールの完了

この最終画面はインストールが正常に完了したことを意味します。

クライアント設定を実行する

インストール処理の最後に、クライアント設定を実行することができます。ここで基本的なクライアントの情報やセキュリティを設定できます。選択したコンポーネントの一つとしてクライアント設定がインストールされている場合、拡張クライアント設定オプションにアクセスできるようになります。

リモートデプロイを実行する

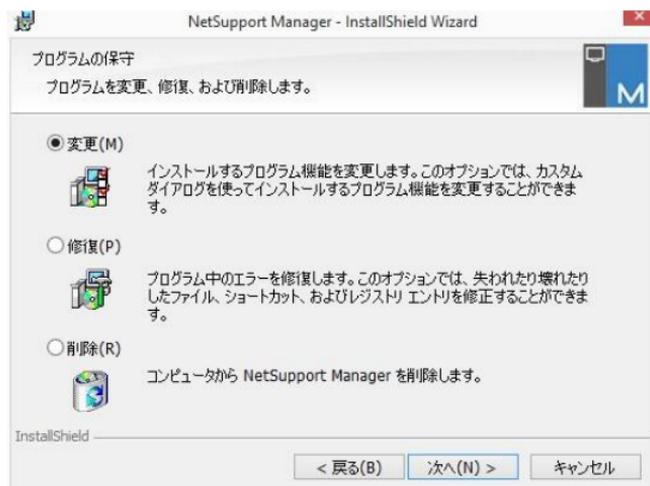
このオプションを選択するとインストール処理後に、NetSupport Manager デプロイ ツールを起動します。複数のコンピュータに NetSupport Manager をリモートでインストール、設定できます

セットアッププログラムを終了するには、[完了] をクリックします。

注意: ゲートウェイコンポーネントのインストールを選択した場合は、ゲートウェイ設定 ダイアログが表示されます。ゲートウェイ用のセキュリティを作成します。

既にインストールされています

既にNetSupport Managerがインストールされている場合、この画面が表示されます。



- **変更**
インストール済みのプログラムを変更します。
- **修復**
プログラム内のインストールエラーを修復します。
- **削除**
コンピュータからNetSupport Managerを削除します。

オプションを選択し、[次へ] をクリックします。

NetSupport Managerをアンインストールする

NetSupport Managerをアンインストールする一般的な方法はコントロールパネル内の [プログラムの追加と削除] で NetSupport Managerを選択する 方法です。

Windows XPおよびそれ以降のワークステーションには、NetSupport Manager デプロイが、離れた場所から複数のアンインストールを実行するために使用されます。

評価用体験版

NetSupport Managerの評価版キットは販売店のホームページからダウンロード可能です。ご購入前にNetSupport Managerをお試しいただくことができます。評価版ソフトウェアは次の制限事項を除き全機能をお使いいただけます：

- 最大10クライアントがネットワーク上で同時にお使いいただけます。
- 評価期限が過ぎるとコントロールおよびクライアントプログラムは起動しません。

購入時にシリアル番号を発行して制限を解除することができます。これにより評価版キットをライセンス製品にアップグレードすることが可能です。

体験版をライセンス製品版にアップグレードするには

プログラムグループフォルダ [NetSupport Manager] をインストールしたディレクトリ内のPCILIC.EXEファイルを開きます。

NetSupport Manager ライセンスダイアログが表示されます。ライセンスの詳細を入力してください。半角全角大文字小文字に注意して入力してください。

正しいライセンス情報を入力したら、[生成] をクリックします。これでNetSupport Managerは製品版になります。

拡張インストール

配布用コピーを作成する（ネットワークインストール）

NetSupport Managerの管理 インストール(配布用コピー)は、インストールメディアやライセンス詳細が容易に利用できないネットワークPCへのNetSupport Managerのインストールや一度もしくは期間で数回のインストール作業を支援するようにデザインされています。

このタイプのインストールはあらかじめ特定のオプションを備えたNetSupport Managerのセットアップを設定することもできます。そのため、確実に同一の設定で全てのインストールを行なえます。

作成したら、標準インストール、サイレントインストール、またはNetSupport Managerデプロイルーチンのイブとして実行時に配布用コピーを使用することができます。

サーバ上にNetSupport Manager配布用コピーを設定するには

1. インストールを予定しているすべてのPCがアクセスできるネットワーク上にフォルダを作成します。
2. オリジナルメディア(CD または ダウンロード)から SETUP.EXE ファイルをコピーします。
3. 有効な NSM.LIC ファイルを作成し、このフォルダにコピーします。インストール時にライセンスファイルがフォルダに存在しない場合は、NetSupport Manager は体験版のライセンスを使ってインストールします。
4. CLIENT32U.INI ファイルを作成し、このフォルダにコピーします。

注意: 許可のないユーザーによる設定の変更を回避するため、ネットワークフォルダを [読み取り専用] にしてください。

サーバから各コンピュータにインストールするには

1. インストールするコンピュータで NetSupport Manager のセットアップファイルが存在するネットワークフォルダを指定します。
2. Setup.exe を実行します。
3. 「インストールの開始」の説明に従ってください。

サイレント/無人インストール

サイレントインストールとは、ユーザーの入力を一切必要とせずに行うインストール方法です。

サイレントインストールを行なうには

1. 必要なインストールファイルのあるNetSupport Managerの配布用コピーを作成します。
2. インストール用プロパティを実行するに、NetSupport Manager プログラムフォルダからINSTCFG.EXE を実行します。インストール コンフィグ設定 オプション ダイアログが表示されます。選択したプロパティが パラメータファイルに保存されます。デフォルトファイル名はNSM.ini です。
3. {ファイル}[保存]を選択してNSM.ini' ファイルをNetSupport Manager配布用 コピーのあるフォルダーに保存します。
4. 対象のPCでサイレントインストールを行うには配布コピーのあるファイルから以下を実行してください：

```
msiexec /i "NetSupport Manager.msi" /qn (MSI インストーラー)  
setup /S /v/qn (setup.exe インストーラー)
```

注意： NetSupport Managerがアクティブデレトリ経由でインストールされます。ソフトウェアインストールグループポリシーオブジェクト(GPO)がユーザーではなくむしろコンピューターアカウントを含むオーガナイゼーションナルユニットに適用されなくてはなりません。ソフトウェアのインストールをすぐに有効にするためには、ソフトウェアのインストール対象のコンピューターを制御するComputer Configuration| Administrative Templates| System| Logon| leaf of the group policy内の「Always wait for the network at computer startup and logon」パラメーターを有効にする必要があるのでご注意ください。この変更は、適用したWindows XPのログイン時間に影響します。この変更がない場合、ログオフ/ログオンサイクルの追加がインストールに影響するために必要になります。

設定オプションダイアログをインストールする

サイレントインストールを行うときや NetSupport Manager デプロイを使ってインストールを行うときに、インストール先の個別の必要条件に合わせてインストール方法をカスタマイズできます。このダイアログボックスは NetSupport Manager のプログラムフォルダ内のINSTCFG.EXE を起動すると表示され、サイレントインストール時やNetSupport Managerデプロイを使ってインストールするときに必要な変数を一般タブのインストールプロパティで設定できます。設定した情報は、NSM.iniというパラメータファイルに保存されます。



クライアントマシンにインストールするNetSupport Managerコンポーネントのボックスをチェックします。コントロール、School先生およびテックコンソール用のデスクトップアイコン、そしてインストールするコンポーネント用のスタートメニューアイコンを作成するかどうか選択します。

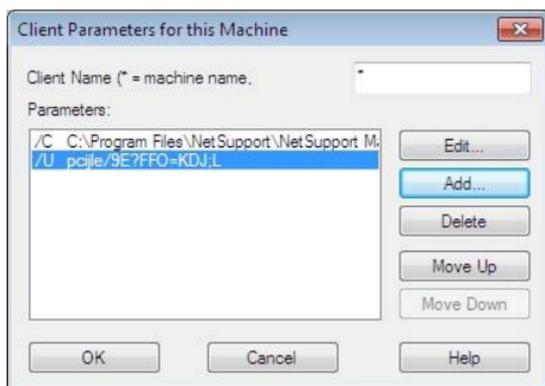
クライアントパラメータ (オプション)

インストール後に使用するための特定のクライアント設定ファイルを作成している場合は、ここにパスとファイル名を指定します。ファイルの場所によっては、ファイルにアクセスするクライアントに名前とパスワードの要求のユーザー確認を行なう必要があります。正しいフォーマットでパラメータを指定するには、NetSupport Manager クライアント設定でそれらを作成し、このフィールドにコピーしてください。

配布用コピーからインストールする場合またはNetSupport Managerセットアップ用パッケージ付属のデフォルトの設定ファイルを使用したい場合は、フィールドを空欄のままにしてください。

クライアントのパラメータを指定するには

1. [スタート][プログラム][NetSupport Manager][クライアント設定]を選択し、NetSupport Manager のプログラムフォルダを開きます。
2. [拡張]を選択します。
3. クライアント設定のメニューから[プロファイル][クライアントのパラメータ]を選択します。
4. [クライアントパラメータ] ダイアログが表示されます。



5. パラメータを指定するには [追加] をクリックします。

注意:

- ユーザー確認が必要な場合、コンフィグ設定ファイル名を優先させます
- 各パラメータのセットは別けて追加してください。

6. ユーザ確認を入力します。(ユーザー名とパスワード)。OKをクリックします。ダイアログに該当するSTRINGが表示されます。
7. クライアント設定ファイルの場所を指定するには、[追加] をクリックします。[OK]をクリックします。

クライアントパラメータダイアログが必要なSTRINGを含んでいる場合、それぞれインストールオプションダイアログにコピーします。(コピーと貼り付けを使用します)

インストール先ディレクトリ

NetSupport Manager をインストールするディレクトリを指定します。デフォルトのディレクトリ ¥ Program Files ¥ Netsupport Manager にインストールするには、空欄のままにします。



NETSUPPORT MANAGER デプロイ - NETSUPPORT MANAGER'S リモートインストールツール

NetSupport Manager デプロイツールはネットワーク管理者がそれぞれのPCに 出向かずに複数のPCにNetSupport Manager のインストールと設定ができる 機能です。ネットワークを参照してデプロイ先PCを選択できます。

NetSupport Managerデプロイユーティリティでは、IPアドレス範囲を使用して配置や、ネットワークの表示が提供される能力を持つことができます。これらの方法の両方ともデプロイしたいコンピュータを選ぶことができます。

NetSupport Managerデプロイユーティリティは以下のオペレーティングシステムが動作しているコンピュータに配信するために使用されます :

- ▼ Windows XP
- ▼ Windows 2003
- ▼ Windows Vista
- ▼ Windows Server 2008\2008r2
- ▼ Windows 7
- ▼ Windows 8/8.1
- ▼ Windows Server 2012
- ▼ Windows 10

注意 : Windows XP Home、Windows Vista Home Premiumもしくは Windows 7 Starter/Home editionをお使いの場合は、NetSupport Managerデプロイユーティリティはオペレーティングシステムの仕様上動作いたしません。

Windows XP に配布する

Windows XP プロフェッショナルにNetSupport Managerをデプロイするには、デプロイするパッケージを転送するためにリモートコンピュータのAdmin\$ shareにアクセスしなくてはなりません。デフォルトではAdmin\$ shareへのアクセス許可はありません。

ネットワークアクセスを有効にするには:

1. 管理ツール内のローカルセキュリティポリシーを選択します。
2. {セキュリティ設定}{ローカルポリシー}{セキュリティオプション}を選択します。
3. {ネットワークアクセス:}を選択します。
4. このポリシーを{クラシック - }に設定後、Admin\$ 共有が有効になり、通常通りデプロイが可能になります。

Microsoft Windows XP Service Pack 1 から Service Pack 2にアップグレードしている場合、Windows のファイアウォールがデフォルトで NetSupport Manager によるネットワークアクティビティをすべてブロックしてしまいます。NetSupport Manager が正しく動作させるために、NetSupport Manager 社では、Windows ファイアウォールを設定するためのツールを提供しています。

Windows ファイアウォール設定で NetSupport Manager を有効にするには

1. ファイルをダウンロードします。
2. NetSupport Manager がインストールされているコンピュータで、次のコマンドを使ってこのツールを実行します。
ICFCONFIG -e NSM
3. NetSupport Manager が正常に動作するように、Windows ファイアウォール設定内に必要なすべてのエントリを作成します。

ICFCONFIG ツールは、Windows ファイアウォール設定から NetSupport Manager 製品を削除する時にも使用します。詳しくは、NetSupport Ltd 社のホームページにてすべての ICFCONFIG コマンドラインオプションをご確認ください。

NetSupport Managerデプロイの仕組み

デプロイオプションが設定されたら、NetSupport Managerデプロイユーティリティは、ファイルとプリンタ共有を使用して対象のコンピュータに接続することで動作します。

この方法は、対象コンピュータのAdmin\$へのアクセスが必要でローカル管理者アクセス(ユーザーの詳細が要求される場合があります)を持つユーザーとして接続する必要があります。認証されると、NetSupport ManagerのパッケージファイルがAdmin\$共有への接続を使用してリモートPCの次のフォルダにコピーされます:

C:\Windows\pcirdist.tmp\

最後に、対象のPCにファイルが送信されると、リモートプロシージャコール(RPC)サービスを使用してインストーラファイルが実行されます。

必須条件

対象のPCへNetSupport Managerコンポーネントを正常に配布するためには、以下の項目が必要です:

- ❖ ファイルとプリンタ共有が対象PCで有効にする必要があります。
- ❖ ローカルアカウントポリシーの共有とセキュリティが対象PCで[クラシック]に設定する必要があります。
- ❖ 対象PCへの接続に使用するユーザーアカウントは、対象PCでローカル管理者権限を持っている必要があります。
- ❖ ネットワーク検索は、Windows Vista/7の対象PCで有効にする必要があります。
- ❖ UACリモート制限は、ワークグループ環境のWindows VistaおよびWindows 7を実行している対象PCを無効にする必要があります。

デプロイの手順

NetSupport Managerデプロイツールは、ドメインとワークグループの両環境のマシンに配布するために使用することができます。

これらの環境でNetSupport Managerデプロイを実施する方法については、下記を参照してください：

ドメイン環境

ドメイン環境でNetSupport Managerデプロイツールを使用する場合、Windowsグループポリシー設定が、これらのPCにNetSupport Managerコンポーネントの配布を許可するために必要な設定（上記詳述）を使用して対象PCを構成するために使用されます。

ネットワーク検索

NetSupport ManagerデプロイツールのWindowsネットワークビューにWindows 7およびVistaを実行しているドメインPCを表示するには、ネットワーク検索の設定は対象PCで有効にする必要があります。

ネットワーク検索の設定は、ドメインのPCに対してWindowsグループポリシー設定を適用することで有効にすることができます：

1. マイクロソフトグループポリシー管理ツールを開きます。
2. 新しいグループポリシーを作成する、または必要な対象PCに適用されている既存のグループポリシーオブジェクトを選択します。
3. 選択したグループポリシーオブジェクトを編集するを選びます。
4. グループポリシー管理エディタが開きます。
5. 次の場所に移動します：
コンピュータの設定 - ポリシー - Windows設定 - セキュリティ設定 - 高度なセキュリティのWindowsファイアウォール - インバウンドルール
6. アクションメニューから新規ルールを選択します。
7. 最初のルールの種類には、プリ定義オプションを選択し、ドロップダウンメニューから{ネットワーク検索}を選んで次へをクリックします。
8. プリ定義ルールステップで次へを選びます。
9. アクションステップが表示されます - 「接続を許可オプション」を選択します。
10. 完了をクリックします。



次回ドメインPCが再起動する、またはPCでグループポリシーが更新されると、ネットワーク検索オプションがWindowsファイアウォールに追加されます。これによりNetSupport ManagerデプロイツールのWindowsネットワークビュー内でPCが表示されるようになります。

ファイルとプリンタ共有

NetSupport ManagerデプロイツールがNetSupport Managerインストールファイルを転送するために対象PCのAdmin\$共有に接続できるようにするには、ファイルとプリンタの共有へのアクセスが対象PCで有効にする必要があります。

ドメインPCに対して以下のWindowsグループポリシー設定を適用することで、この設定を中央で有効にすることができます：

1. マイクロソフトグループポリシー管理ツールを開きます。
2. 新しいグループポリシーを作成する、または必要な対象PCに適用されている既存のグループポリシーオブジェクトを選択します。
3. 選択したグループポリシーオブジェクトを編集するを選びます。
4. グループポリシー管理エディタが開きます。
5. 次の場所に移動します：
コンピュータ設定 - ポリシー - 管理用テンプレート - ネットワーク - ネットワーク接続 - Windowsファイアウォール - ドメインプロファイル
6. 上記の場所から次のポリシーを選択します：
Windowsファイアウォール：
すべてのインバウンドファイルとプリンタの共有を除外。
7. 有効にするために上記のポリシーを設定します。

次回ドメインPCが再起動する、またはPCでグループポリシーが更新すると、これらのPCにAdmin\$共有へのアクセスが可能になります。

ワークグループ環境

ワークグループ環境でNetSupport Managerデプロイツールを使用する場合は、上記「必須条件」セクションの強調表示の項目で正しく設定されていることを確認してください。

ワークグループ環境では、これらの構成は、対象PCのローカルで行われる必要があります：

ネットワーク検索

Windows 7およびVistaを実行しているワークグループ内のPCをNetSupport ManagerデプロイツールのWindowsネットワークビューに表示するためには、ネットワーク検索設定は各対象PCで有効にする必要があります。

Windows 7およびVista:

1. 対象PCにローカル管理者権限でログオンします。
2. コントロールパネルにアクセスします。
3. ネットワークと共有センターを開きます。
4. 高度な共有設定を選択します。
5. ネットワークプロファイル項目下のネットワーク検索オプションが次のように設定されていることを確認してください:
{ネットワーク検索を有効にする}。
6. 変更を保存します。

ファイルとプリンタの共有

ワークグループ環境のPCにNetSupport Managerデプロイツールを配布するには、各対象PCでファイルとプリンタ共有が有効にする必要があります。

Windows XP:

1. {マイネットワークプレース} {プロパティ}を右クリックします。
2. {ローカルエリア接続}を右クリックします。
3. {プロパティ}を選びます。
4. {一般}タブから、{マイクロソフトネットワークのファイルとプリンタ共有}オプションを選びます。
5. OKをクリックします。

Windows 7およびVista:

1. スタート、次にコントロールパネルをクリックします。
2. {Windowsファイアウォール}を選びます。
3. {Windowsファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する}オプションを選択します。
4. ファイルとプリンタの共有と関連付けられている例外(プライベートおよびパブリック)を許可するオプションを選択します。変更を保存するにはOKをクリックします。

共有とセキュリティモデル

管理者アカウントを使用してワークグループ内のPCにリモートアクセスできるようにNetSupport Managerデプロイユーティリティを使用するには、共有とセキュリティのローカルポリシーは、各対象PCでクラシックモードに設定する必要があります。

Windows XPプロフェッショナル、Windows 7およびVista:

1. 管理者用ツール内でローカルセキュリティポリシーを選びます。
2. {セキュリティ設定}{ローカルポリシー}{セキュリティオプション}を選びます。
3. {ネットワークアクセス: ローカルアカウント用共有とセキュリティモデル}。
4. または{クラシック - 自身でローカルユーザーを認証する}にこのポリシーを設定。

UACリモート制限

ワークグループ環境のWindows 7/Vistaマシンの場合、イカの手順でこれらの対象PCでUACリモート制限を無効にする必要があります:

1. スタートをクリック、そして実行をクリックして「regedit」を入力したらエンタキーを押します。
2. 次のレジストリサブキーを見つけてクリックします:
HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥
CurrentVersion¥Policies¥System
3. LocalAccountTokenFilterPolicyレジストリエントリが存在しない場合、次の手順に従ってください:
 - a. 編集メニューで新規作成を選びDWORD値をクリックします。
 - b. 「Type LocalAccountTokenFilterPolicy」を入力し、エンタキーを押します。
 - c. LocalAccountTokenFilterPolicyを右クリックし、変更をクリックします。
 - d. 値データボックス内に1を入力しOKをクリックします。
4. レジストリエディタを終了します。

一般的なエラー

症状

NetSupport ManagerをPCに配布するときに次のエラーメッセージが表示されることがあります:

*[対象マシン] クライアントバージョンを確認中… 何もありませんでした
[対象マシン]のプラットフォーム情報が取得できないエラーがありました。ネットワークパスが見つかりませんでした。*

NetSupport Managerを0台のマシンに送信。

原因

Windowsファイアウォールまたはサードパーティ製ファイアウォールアプリケーションが必要な除外設定が有効になっていない時にこのメッセージが表示されます。

解決策

前のセクションのデプロイで解説したファイルとプリンタ共有へのアクセス許可の例外がファイアウォールで設定されていることを確認してください。

症状

対象PCにNetSupport Managerを配布するときに、対象PCへの接続にユーザー名とパスワード入力を要求される。

コンピュータに接続するためにユーザ名とパスワードを入力したにも関わらず、ネットワークリソースに接続するメッセージが再表示される。

キャンセルをクリックを表示します:

*[対象マシン]のクライアントバージョンを確認中…
何も見つかりませんでした
NetSupport Managerを0台のマシンに送信。*

原因

上記の動作の理由は、ゲストのみに次のローカルポリシーが設定されているためです:

「ネットワークアクセス: ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」

解決策

この問題を解決するためには、ローカルポリシーの設定をゲストのみからクラシックに変更する必要があります - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証。この設定を適用する方法の詳細は、このドキュメントのデプロイセクションに記載されています。

症状

対象PCにNetSupport Managerクライアントを配布するときに、ステータスタブにエラーメッセージが表示されます：

NetSupportをインストール中にエラー [ディレクトリ名が無効です。]

原因

理由はNetSupport Manager¥DeployフォルダにNetSupport Manager.msiファイルが含まれている。。

解決策

問題を解決するには、NetSupport Manager/Deployフォルダ内のNetSupport Manager.msiファイルをSetup.exeファイルと置き換える必要があります。

症状

対象PCにNetSupport Managerを配布するときに、次のエラーメッセージが表示される場合があります：

*[対象マシン]のクライアントバージョンを確認中…
何も見つかりませんでした
リモートインストールサービスを開始しています…*

原因

対象PC上で配布中に使用されるインストールサービスがリモートで開始できないときに、上記エラーが表示されます。対象PCに接続するために指定したアカウントの詳細が完全な管理者許可がない場合、これが表示されます。

解決策

これを確認するには、対象PCのサービス一覧にアクセスできるか確認します。このテストは配布元のマシンで実行します：

1. マイコンピュータ/コンピュータを右クリックして管理を選択します。

2. コンピュータの管理を右クリックして、別のコンピュータに接続を選びます。
3. 「別のコンピュータ」タブを選び、配布先の対象マシン名を入力し、OKを選びます。
4. 対象マシンのコンピュータ管理ペインが開きます。
5. サービスとアプリケーションセクションを選び、展開するとすべての一覧が表示されます。
6. 一覧を開いたら、サービスを選んで対象マシンで実行しているサービスを表示されるか確認します。

注意: 配布先マシンのリモートサービスにアクセスできない場合は、セキュリティの許可設定がリモートサービスの開始を禁止していることが考えられます。

NETSUPPORT MANAGER コントロールを起動する

NetSupport Manager コントロールプログラムを起動するには

1. NetSupport Manager プログラムグループの NetSupport Manager コントロールのアイコンをダブルクリックします。
または
オペレーティングシステムから[スタート][NetSupport Manager][NetSupport Manager コントロール]を選択します。

NetSupport Manager が初期化すると、画面中央に NetSupport Manager のロゴとバージョン情報が表示されます。この画面は NetSupport Manager を起動するほんの数秒間だけ表示されます。その後、コントロール画面が表示されます。

注意: 初期設定では、コントロールは TCP/IP プロトコルを使用するように設定されていますが、同時に複数のプロトコルにも対応しています。コントロール起動時にプロトコルエラーメッセージが表示される場合または、別のプロトコルが動作しているクライアントに対応するように設定し対場合は、コントロールウィンドウのメニューから[ネットワーク][環境設定 - プロトコル]を選択します。

MACベースのシステムにNETSUPPORT MANAGERをインストールする

Macから他のワークステーション/デバイスを遠隔操作したり、コントロールがリモートユーザーに接続し画面を表示し、様々な遠隔操作タスクを実行できるNetSupport ManagerコントロールとクライアントをMacシステムにインストールすることができます。

注意: NetSupport Manager Mac クライアントはOS X 10.5またはそれ以降のバージョンに対応しています。また、新しい Intel ベースのシステムの対応を含む Mac ユニバーサルバイナリを提供しています。

NetSupport Manager Mac クライアントをインストールする

1. NetSupport Managerは、標準のMac OS X .DMGファイルとして提供されます。www.netsupportmanager.com/downloads.aspにてダウンロードが可能です。(インストール方法の解説もそこでダウンロード可能です。)
2. ドライブイメージをマウントするには、ハードドライブにコピーしダブルクリックします。マウントされたドライブイメージは、デスクトップ上に表示されます。
3. インストーラは自動的に実行されるので、画面の指示に従ってください。

現在対応している機能は、NeSupport Ltd 社のホームページで確認することができます。

LINUX プラットフォームに NETSUPPORT MANAGER クライアントをインストールする

NetSupport Manager クライアントは、Linux プラットフォームにインストールでき、ウィンドウズ マネージャー上で動作するように設計されています。コントロールは、リモートユーザーに接続、その画面を表示そして色々なリモートコントロール機能を実行することができます。

注意: NetSupportは現時点では次のLinux製品に対応しています：
OpenSUSE 11.2およびそれ以降、SUSE Enterprise 11、SUSE Enterprise Server 11、Ubuntu/Edubuntu 9.04へ12.10、Debian 5およびそれ以降、そして、Red Hat Enterprise Linux 6、Linux Mint 9へ13、そしてFedora 12へ17。

1. NetSupport Manager Linuxクライアントは、「tar.gz」フォーマットで提供されます。www.netsupportmanager.com/downloads.aspにてダウンロードが可能です。(インストール方法の解説もそこでダウンロード可能です。)
2. Linux 搭載コンピュータのディレクトリにダウンロードします。
3. TAR BALLを解凍します。するとInstallというサブディレクトリが作成されます。
4. ディレクトリを指定し、インストールを実行します。(ルートユーザーで実行します)
5. NetSupport Manager クライアントは Linux daemon を提供する%usr %nsm にインストールされます。

NetSupport Manager コントロール側は、従来の方法でクライアントに接続します。

注意: SuSE9.3や SuSE10ディストリビューション版をインストールすると、次のエラーメッセージが表示されます。「SuSEFirewall2: Warning: iptables does not support state matching. Extended Ipv6 support disabled」。これは標準メッセージですので、無視してください。

GOOGLE CHROME OSデバイスに NETSUPPORT MANAGERのインストールと設定

NetSupport Managerは、Google Chrome OSデバイス用のリモートコントロール機能を提供します。

Google Chrome拡張用NetSupport ManagerクライアントがGoogle Chrome OSが実行されている各クライアントマシンにインストールされます。技術者のデスクトップから、素早く効率的に各クライアントを監視し対話することができるように各システムに接続できます。

インストールを計画する

NetSupport ManagerコントロールがChrome OSデバイスと接続し対話できるようにするには：NetSupport接続サーバがWindowsサーバにインストールされている必要があります。NetSupport Managerコントロール（Windows、Macまたはモバイル）が技術者のコンピュータにインストールされている必要があります。NetSupport Manager Chromeクライアント拡張が各Chromeデバイスにインストールする必要があります。

Chrome OS用NetSupport Managerクライアントには既存の既に購入したNetSupportライセンスが使用されます（十分な未使用のライセンスをお持ちの場合に限り）。または追加Chrome OSクライアントだけをNetSupport販売店から購入することができます。

Google Chrome 拡張用NetSupport Managerクライアントのインストールと設定

1. Google Chrome拡張用NetSupport Managerを[Google Chrome](#)ストアからダウンロードします。
2. 「拡張」設定ページにアクセスするためのURL `chrome://settings/extensions`を入力します。
3. Google Chrome拡張用NetSupport Managerクライアントの場所を開き、オプションをクリックします。
4. ゲートウェイのアドレスとのポート番号を入力します。
5. 必要に応じて、このクライアントを識別する名前を入力します。
6. 保存をクリックします。

Chrome インコグニートモード：

クライアントのフル制御を維持するには、Chrome OSユーザー設定でインコグニートモードを「許可しない」ことを推奨します。これは、Google管理コンソール経由でセントラルで実行できます。



Chrome OS「クライアント」システムに接続時の主な機能:

環境

- NetSupport Manager コントロールは、HTTP経由でChrome用 NetSupport Managerクライアントが実行しているGoogle Chrome OSデバイスと通信します。希望のコンポーネントのインストールや設定のヘルプは下記ドキュメントを参照してください。

リモートコントロール

- 各Chrome OSクライアント画面の鮮明なサムネイルが単一ビューでコントロールに表示することができます。
- クライアントの画面を気づかれずに監視(観察モード)やリアルタイムでリモートコントロール(共有モード)することができます。
- リアルタイムの指導やデモに、Chrome OSクライアントをコントロール(WindowsまたはMac)画面にブラウザタブか全画面表示モードで表示することができます。
- クライアントにコントロールのデスクトップのアプリケーションを表示させることができます。
- マルチモニタのサポート - マルチモニタを実行しているChrome OSデバイスを監視。
- クライアントのマウスとキーボードをリモートで「ロック」することができます。
- Chrome OSクライアントはコントロールが開始するテキスト「チャット」に参加できます。
- Chrome OSクライアントはコントロールが送信したメッセージを受信することができます。

サポートツール

- リモートクリップボード - 画面受信中にクライアントのクリップボードの内容をリモートでコントロールが取得することができます。コントロールのクリップボードのコピーをクライアントに送信することもできます。
- ヘルプ依頼ファシリティ - クライアントはコントロールにヘルプの依頼を送信することができます。

柔軟性

- PIN接続 - 中央のPINサーバモジュールを介して双方が一致するPINコードを入力することでクライアントはコントロールと即時に接続を開始することができます。

セキュリティ

- ユーザー承認 - クライアントは受信した各接続要求を承認することができます。

NETSUPPORT MANAGER

ANDROIDクライアントのインストールと設定

NetSupport Manager Androidクライアントアプリは、既存のNetSupport Manager コントロールユーザーに企業全体で使用されているAndroid タブレットやスマートフォンに接続する機能を提供し、リアルタイムの対話とサポートを可能にします。

NetSupport ManagerクライアントアプリはAndroidタブレットで動作し、[Google Play](#)ストアから無料で入手可能です。

NetSupport Manager Androidクライアントのセットアップと設定

NetSupport Manager

クライアントアプリを起動し、 を押し設定を選択します。

全般

デバイスの名前を表示します。

あなたが選んだ名前にカスタマイズすることができます。

セキュリティ

セキュリティキー

同じセキュリティキーが設定されているコントロールだけしか接続できないようになります。この項目はオプションです。ここにセキュリティキーを設定しない場合、コントロールで設定したセキュリティキーに関係なく、どのコントロールも接続できます。

TCP/IP

デフォルトポート

NetSupport Manager用のデフォルト登録されているポートは5405です。

マルチキャストアドレス

これは、クライアントが受信するIPマルチキャストアドレスです。

HTTP

ゲートウェイを使用する

起動時にクライアントの現在のIPアドレスが指定された「ゲートウェイ/ネームサーバー」に登録したい場合は、このオプションを有効にします。一致するセキュリティキーと一緒にゲートウェイのIPアドレスを入力します。

PIN Server

クライアントがPIN接続を使用して接続できるように、PINサーバーがインストールされているワークステーションのIPアドレスを入力します。

構成設定を保存するには、 を選択します。

Androidタブレットやスマートフォンに接続する際の主な機能:

- **PIN接続:** NetSupport ManagerのPIN接続機能は、一致するコードを共有することにより、クライアントデバイスとコントロール間のシームレスで安全な接続を可能にします。(NetSupportのPINサーバモジュールは、NetSupport Managerに標準付属しており、Windows PCにインストールする必要があります)。
- **メッセージ:** クライアントデバイスは、コントロールユーザーが送信したテキストメッセージを受信することができます。
- **チャット:** クライアントとコントロールの双方は、1対1のテキストチャットを開始することができます。クライアントは、コントロールが開始されたグループディスカッションに参加することもできます。
- **ファイル転送:** コントロールユーザーは、柔軟性と作業性を向上するためにクライアントデバイスとファイルを転送することができます。
- **画面キャプチャ:** リモートコントロール中に、コントロールは、問題解決を支援するためのクライアントデバイスのスクリーンショットをキャプチャすることができます。
- **WiFi/バッテリー表示:** 現在の無線ネットワークの状態を確認し、接続している各デバイスバッテリー残量を表示します。

さらにサポートされるデバイスのために**:

- コントロールは、接続されているAndroidデバイスのサムネイルを表示することができます。
- 拡大して、選択したクライアントデバイスの大きなサムネイルを拡大表示します。
- コントロールは、慎重に画面を表示(観察モード)または接続しているクライアントデバイスの画面をリモートコントロール(共有モード)することができます。

**サポートされているデバイスは、デバイスの画面監視に必要な追加のアクセス権を提供しているベンダーからのものです。

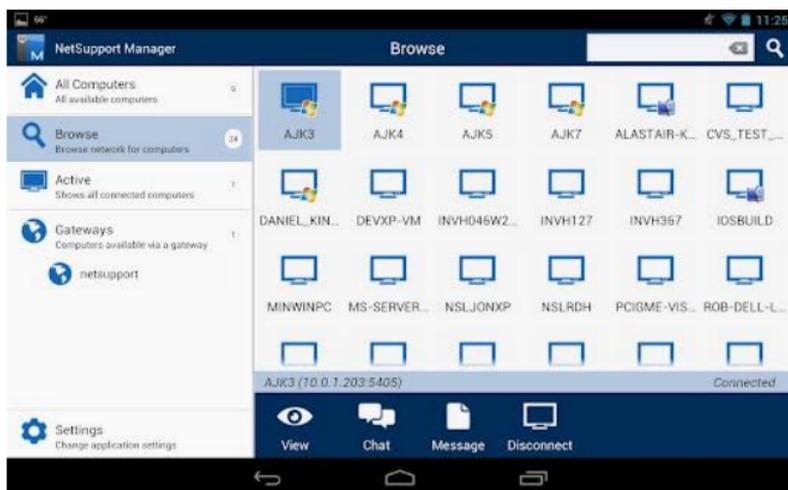
IOSおよびANDROID用NETSUPPORT MANAGER コントロール

iOSおよびAndroid用NetSupport Managerコントロールは、既存のNetSupport ManagerリモートユーザーのためにiPad、iPhone、iPod、AndroidタブレットおよびスマートフォンまたはKindle Fireからリモートでモバイルリモートコントロールを提供します。

新しいモバイルコントロールは、ユーザーがIPアドレスまたはPC名のいずれかでローカル検索し接続することができ、または無料のNetSupport Manager インターネットゲートウェイコンポーネントを利用してリモートコンピュータを検索、接続そして表示することができます。

The NetSupport Managerコントロール既存のNetSupport Managerクライアントを実行しているリモートPCのフルリモートコントロール、チャットそしてメッセージ機能を提供します (version 11.04またはそれ以降)。

NetSupport Manager Mobile Appは、[Google Play](#)、アップルの[iTunes Store](#)、[Amazon](#)アプリストアからダウンロードすることができます。



読者のコメント

UK & インターナショナル

ホームページ: www.netsupportsoftware.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupportsoftware.com

北アメリカ

ホームページ: www.netsupport-inc.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupport-inc.com

カナダ

ホームページ: www.netsupport-canada.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupport-canada.com

ドイツ, オーストリア, スイス

ホームページ: www.pci-software.de

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@pci-software.de

日本

ホームページ: www.netsupportjapan.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupportjapan.com